

2003年1月21日



イー・アクセス株式会社
日本テレコム株式会社
KDDI 株式会社
株式会社 日立製作所

イー・アクセス、IPv4/v6 デュアルスタック実験サービスを開始 - ODN、DION など ISP がモニターを募集 -

イー・アクセス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:千本 倖生、以下 イー・アクセス)は、日本テレコム株式会社(東京都中央区、代表取締役社長:ウィリアム・モロー)が運営する ODN、KDDI 株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長:小野寺 正)が運営する DION など、提携 ISP と共同で、次世代のインターネットプロトコルである「IPv6」の実証実験サービスを開始いたします。

これにともない、ODN、DION など各 ISP において、モニターを募集いたします。イー・アクセスの ADSL ユーザーを対象に、ODN が2月1日から、また DION は準備が整い次第募集開始いたします^{注1}。なお本実験は、当初東日本を中心とした各 ISP 指定のエリアにて実施され、実験に向けての相互接続は2月から開始されます。

IPv6 サービスは、ユーザー宅内の機器に固定の IPv6 アドレスをプラグ&プレイで付与することができます。これにより、電話、ビデオチャット、ネットワーク対戦型ゲームや、VPN の構築、暗号化通信など、Peer to Peer 型(個々のユーザー宅内機器同士の通信)のアプリケーションの利用が容易になります。また、情報家電機器にも IPv6 アドレスの付与が可能となるため、リモートによる家電の制御もこれまでより簡単に行うことができます。このように IPv6 サービスは、今後家庭でのネットワーク利用の拡大や情報家電の普及に伴い、潤沢なアドレス資源の確保等、ネットワーク利用の可能性を大きく広げるものとして早期の普及が期待されております。

この実験サービスは、「IPv4/v6 デュアルスタックサービス」という、1つの PPP セッション上で、IPv4 と IPv6 を同時に、もしくは互いに影響することなく独立に利用できるものです。ユーザーからみれば、同時に2

つの IP アドレス(IPv4 と IPv6)を利用できる環境が整います。この方式を採用したのは、現在進められている IPv6 の標準化で、今後デュアルスタック方式が標準方式の有力候補であること、また、IPv4 のネットワークが当分存続する可能性が高く、現時点では IPv6 特有の有効なアプリケーションが少ないこと等から、IPv6 とともに IPv4 が利用できる環境整備の必要性があると考えられたためです。なお、本実験サービスのネットワークを構築するにあたっては、株式会社 日立製作所(本社:東京都千代田区、取締役社長: 庄山悦彦)のブロードバンドアクセスサーバー「AG8100-B」を採用、同機器のもつ「IPv4/IPv6 デュアルスタック機能」ならびにユーザーに自動で IPv6 アドレスを割り振る「プレフィクス・デリゲーション機能」により、簡単に IPv4/IPv6 双方のサービスを同時かつ独立に利用できます。

IPv6 の商用化に向けては、情報家電を含むユーザー層の拡大、マーケットの成長が不可欠ですが、一方で、標準の確定とそれに準拠した設備の安定稼働等、技術面の課題もあります。今回の実験サービスでは、標準となる可能性の高いデュアルスタック方式を実装した設備の実証を通して技術面の課題を検討し、きたるべき IPv6 サービスの実用化にいち早く対応するよう取り組んでまいります。

注1 各 ISP により、申込み開始日等が異なります。モニター申込みの詳細情報については、各 ISP へお問い合わせください。

文中に記載の商品名は各社の登録商標です。

■ 報道関係の方からのお問い合わせ

・イー・アクセス株式会社 広報グループ 【担当：荒木】 TEL:03-5777-8480

E-Mail : pr@eaccess.net

・日本テレコム株式会社 広報グループ 【担当：倉野、成廣、岡】 TEL:03-5540-8017

実験情報 : <http://www.odn.ne.jp/infoodn/v6adsl/>

・KDDI 株式会社 広報部 【担当：石塚】 TEL:03-3347-6935

・株式会社日立製作所 情報事業統括本部 経営企画本部 経営企画部

広報グループ 【担当：米山】 TEL: 03-5295-1682

製品の詳細情報 : <http://tiis.hitachi.co.jp/IP/ag8100.html>

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
